

重層的支援体制整備事業の支援フロー(イメージ)

- 相談者の属性、世代、相談内容に関わらず、包括的相談支援事業において包括的に相談を受け止める。
- 包括的相談支援事業が受け止めた相談のうち、単独の支援関係機関では対応が難しい複雑化・複合化した事例は多機関協働事業につなぐ。
- 多機関協働事業は、各支援関係機関の役割分担や支援の方向性を定めたプランを作成し重層的支援会議に諮る。
- 重層的支援会議を通じて、関係機関間で支援の方向性にかかる合意形成を図りながら、支援に向けた円滑なネットワークをつくることを目指す。
- また、必要に応じてアウトリーチ等を通じた継続的支援事業や参加支援事業につないでいく。

相談者の発見や情報提供

- ・ 地域住民
- ・ 各種会議からの情報
- ・ 支援関係機関
- ・ 他分野の連携機関

包括的相談支援事業

相談の受け止め

- ・ 地域包括支援センター
- ・ 基幹相談支援センター等
- ・ 利用者支援事業の実施機関、母子健康包括センター
- ・ 生活困窮者自立相談支援機関

アウトリーチ等を通じた継続的支援事業

訪問
相談

支援の
実施
プラン実行

モニタ
リング

終結

複雑化・複合化した事例

多機関協働事業

- ・ 課題が複雑化・複合化した事例等に関して、関係者や関係機関の役割を整理、支援の方向性を示す



重層的支援会議

- ・ プランの適切性の協議
- ・ プランの共有
- ・ プラン終結時等の評価
- ・ 社会資源の充足状況の把握と開発に向けた検討

会議内で役割分担や課題等を整理し、紹介元や適切な機関等につなぐ。

全体の支援体制
のモニタリング

終結
本人の課題が整理され、支援の見通しがついていたところ

参加支援事業

- ・ 本人のニーズを丁寧にアセスメントしたうえで、社会とのつながりを作るための支援を行う。

<狭間のニーズへの対応の具体例>

就労支援

見守り等居住支援



支援の
実施
プラン実行

モニタ
リング

終結

※ 重層的支援会議で検討した結果、包括的相談支援事業が引き続き主担当として支援すべき案件であるとなった場合には、包括的相談支援事業に戻すこともある。

※ アウトリーチ等事業は支援の性質上、多機関協働事業が関わる前から支援を開始することもある。